

JEACS

福音讃美歌 ジャーナル

2024.12 vol.38



画：ファン・アイク兄弟
「ガンの祭壇画」より

Japan Evangelical Association
for Congregational Singing



CONTENTS

- ・福音讃美歌セミナー in 札幌レポート
「あたらしい歌」への期待
福音讃美歌セミナー in 札幌に参加して
- ・インマヌエル ビルド全国大会報告
- ・REVIEW
Catherine Porter 『Play of Light ーベツレヘムの馬小屋へー』 大嶋英知 5
秋岡陽 『秋岡教授の 音楽学を愉しむ24の扉』 中山信児 5
グイド・ダレッツォ 『ミクロログス (音楽小論)』 [全訳と解説] 下川羊和 6
・追悼 ティモシー・ダドリー=スミス 中山信児 6
・新理事長就任挨拶 飯田勝利 7

福音讃美歌セミナー in 札幌レポート

「あたらしい歌」への期待

北海道聖書学院院長 三番通福音キリスト教会牧師 中川昭一

コロナ禍以来の対面によるセミナーが札幌で、しかも北海道聖書学院を会場として開催されたのは光栄であり感謝に堪えません。当日は、来場が24名、オンラインでは32名による計56名の参加となりました。

講演は植木紀夫氏によって進められ、「教会福音讃美歌」の筆頭に掲げられている聖句、詩篇33篇3節の「新しい」とは何か。それは単に“新しい曲”という以上に、“礼拝者が新しくされた者である”という神を礼拝し賛美をささげることの本質を確かめることから始め、今年発行された『あたらしい歌3』が紹介されました。とりわけ今回の歌集には、北海道聖書学院で長く教会音楽を教授いただいた故・菜花香先生の遺作とも呼べる歌詞1曲と、作曲された1曲が収録され、さらに田近喜恵子姉が作詞または作曲されたものが3曲も収録されていることは、新しい讃美歌に関わる働きに北海道の主に仕えておられる方々が用いられていることを誇らしく思い主に感謝しました。

それから実際に何曲かを共に歌う時がありました。きつと長い時間をかけて練り上げてきたであろう作詞と、その詞に込められた思いを引き出そうとして作られた美しい曲に感銘を受けました。収録曲が讃美歌委員によるものだけでなく、応募によって選ばれた曲が諸教会の礼拝の場で用いられることを想像したとき、普遍的教会の美しい在り方を現しているように感じさせられます。

講演の後半は、これまでの福音讃美歌協会の働きを讃美歌集と関連出版物を基に紹介されました。特に、2009年に発刊された最初の『あたらしい歌』は2012年に『教会福音讃美歌』が発刊される3年前に出され、個人的にも懐かしく印象深いものです。福音派で讃美歌集を出版することを聞いたとき、率直に言えば本当にできるのか、用いられるものになるのかという不安が期待よりも上まわっていました。しかし『教会福音讃美歌』の先駆けとして『あたらしい歌』がCD付きで出されたときは、“ああ本当に実現するのだな”との実感が強まり、CDで聴いた曲の美しさに不安が期待へと変わっていったことを思い出します。そこで、以前仕えていた教会で早速『あたらしい歌』の曲を順次礼拝で用いることにしました。ほとんどの曲が『教会福音讃美歌』に収録されたので、礼拝で用いる歌集を発刊とほぼ同時期に『教会福音讃美歌』に変えたときも、伝統的な曲を中心にしつつ、すでに馴染んでいる新曲と、これからも新しい曲に前向きに挑戦する雰囲気を作られていたことは、この最初の歌集の役割が大きかったことを物語っています。その取り組みの中で今回の『あたらしい歌3』です。期待が膨らみます。“長く親しまれていくこと”と“新しくなっていくこと”とは相反することなのかもしれませんが、神に賛美をささげることの意味と目的をみことばに求めていくなれば、それはバランスよく統合されていくように思います。また、小さな讃美歌集を作っていく取り組みを通して、この働きを引き継いでいく方々が発掘され育成されていくことを願うという思いに、共に祈っていきたいと思います。

講演の締めくくりは、「讃美歌集とこれから」として各教団・教派の取り組みと、福音讃美歌協会の展望が紹介されました。さいごに確認された教会福音讃美歌のまえがきにある「変わることはない福音を大切にしつつ、新しい時代にふさわしく、教会及び信仰者の意識と変化と深まりに答える」との言葉が響きました。

福音讃美歌セミナー in 札幌に参加して



札幌希望の丘教会 教会員 田近喜恵子

このセミナーはZOOM参加もありましたが、札幌在住ということもあり、私は対面で参加することができました。

待ちに待った（本当に待った）「あたらしい歌3」を参加者はいち早く手にすることができて感無量でした。オンラインで行われた過去4回のセミナーの中で「心をつにし声を合わせて会衆が歌える信仰の歌」を目指して作られ紹介されてきた讃美歌が複数収録されており、その讃美



中川昭一
小樽市生まれ。大学生の時に受洗。北海道聖書学院を卒業し、JECA 屯田キリスト教会、JECA 恵庭福音キリスト教会を経て、現在はJECA 三番通福音キリスト教会牧師。2023年度まで北海道聖書学院代表役員。2024年度から同学院長。

歌を、今回のセミナーの中で会衆賛美としてささげられる場に居合わせる事ができて心から感謝しました。

日本で発行されてきた讚美歌集の歴史についても紹介されました。その時代その時代の信仰者たちが讚美歌集をどう扱ってきたのか、新しい讚美歌にどう取り組んできたのかを思われます。また、自分自身の教会生活の中で手にしてきた讚美歌集の変遷を思い、その歴史の最先端で、毎週の主日礼拝で歌われる讚美歌への取り組みがなされている、という視点を新たにする時となりました。

後半に持たれたパネルディスカッションでは、パネラーの先生方や参加者からそれぞれの教会の礼拝での「讚美歌を選び用いる」実際の様子が紹介されました。私自身、教会の中で礼拝賛美選曲係の一人であるので、興味深く、また共感しながらお話を伺いました。それぞれの教会に与えられている奏楽奉仕者、今まで積み重ねられてきた伝統、今与えられている会衆の年齢構成など様々なことを考慮しつつ、礼拝での賛美がより豊かになるために労し、取り組んでおられることを具体的に知ることができて、励まされます。

今ある讚美歌集が用いられていくための働きや、次の讚美歌集の編纂に備えていく必要も語られました。様々なツールが手軽に扱えるようになってきていること、ネット上で曲の情報の取得が簡単にできること、新しいものが過ぎ去っていくスピードが加速していることなど、今の時代の良い面と課題を思われます。便利になり有効に活用できれば助けになるネット上のツールは、気をつけないと感謝も配慮もなく用いてしまう面があることを思います。このような時代に、これからも聖書が語る変わることのない「新しい歌」が主に向かって歌われ続けていくために、大切にすべきものが何なのか、そのために何ができるのかについて、心に留めていく課題だと思います。

貴重な学びの機会を備え、労して下さった讚美歌委員会の先生方のお働きに心から感謝いたします。

♪福音讚美歌セミナー in 札幌

2024年9月14日(土) 午前8:20～12時 会場：北海道聖書学院(対面/オンライン同時開催)

■講演：「あたらしい歌」への取り組み 講師：植木紀夫(JEACS 讚美歌委員・教会音楽家)

■パネルディスカッション：「讚美歌を選び用いる ～礼拝実践の可能性と課題」

司会：葛田直毅(讚美歌委員長。インマヌエル綜合伝道団浜松キリスト教会牧師)

パネラー：中川昭一(北海道聖書学院院長。JECA 三番通福音キリスト教会牧師) 三浦称(日本同盟基督教団伊達福音教会牧師)、三戸恵悟(JECA 栄福音キリスト教会牧師)、土井康司(讚美歌委員。日本同盟基督教団下北沢聖書教会)、植木紀夫(讚美歌委員。JECA 松見ヶ丘キリスト教会)



インマヌエル ビルド全国大会報告

インマヌエル越谷キリスト教会 牧師 川村和臣

2024年5月3日（金）～5日（日）の3日間、インマヌエル総合伝道団青年部主催のビルド全国青年大会が行われました。テーマは「This is my story, This is my song ～主と共に生きる喜び～」。講師にはシャインチャーチ（福岡県春日市）の中山有太師、5日の礼拝はインマヌエル久留米教会の吉村和記師（JEACS 理事）でした。横浜のインマヌエル聖宣神学院教会を会場に77名が参加しました。

教団では以前より、定期的に全国青年大会が開催されてきました。しかし、コロナ禍で集まるのが留められました。その時、青年達から、オンラインで集まろうと提案があり、「ビルド」というオンライン集会が毎月持たれるようになりました。そのような状況下だからこそ、青年達がお互いに励まし合い、建て上げようとする目的でした。コロナ禍も一段落し、ビルドが全国大会を対面で行うことになり、青年達からは「思いっきり楽しみたい!」「賛美がしたい!」との声が上がりました。また、ただ賛美するだけでなく「賛美の意味、向き合い方も学びたい」という意見がありました。そこで開催されたのがこの大会です。

中山有太先生の曲は「主を見上げて」「どんなときでも」等、教団の中高校生キャンプでも親しまれていました。その先生に3回の集会（賛美集会、賛美奉仕者セミナー）をお願いしました。賛美集会では「神の愛」と「献身」が語られました。詩篇139篇13、16節等から、聖書の神は創造主であり、私たちは神の作品（製品ではない）、その象徴が十字架であること。その十字架を想い、信じる時、賛美と献身へと導かれる。主に従う道は最も幸いな道（ルカ9:23）であり、主は私たちの情熱や将来、そして心を取り扱われる方であると語られました（イザヤ55:8～9、ローマ8:28）。先生自身のストーリーもふんだんに分かち合っただき、一人ひとりが主に賛美を献げる喜びを受け取りました。セミナーでは「賛美とは」とのテーマで語られました。「賛美とは」①神を「自慢すること」②神との人格的な触れ合い（詩篇22:3）であり、神との心の通い合いであること③賛美は力であり（Ⅱ歴代20:14～23）、暗闇に勝つ力であること等が語られました。「賛美は音を楽しむ（音楽）ではなく神を楽しむ」こと、「主イエスを感じる曲をひとつ持つことが幸い」ということばも心に残りました。また後半は讃美奉仕者の心構えとして、謙遜であること（ヨハネ3:30）、自分が礼拝者として生きること、また、冒険（技術の向上）する大切さも語られました。

印象的だったのは、講演の後、青年達の賛美の姿が変わったことでした。青年達の賛美の声や後ろ姿に、ことばでは説明できない変化と大きな霊的な刷新を感じました。聖会の最後には、主にお従いしたいと多くの青年達が前に進み出ました。最終日は聖日礼拝でした。参加者の3名のユースが、一人ひとりに生き生きと働かれる主イエスのお姿を証しました。講師の吉村和記先生は「イエス様はいまも生きておられる」と大胆に、喜びにあふれて語られました。



「救い主たたえて 日々歌があふれる 救い主たたえて 主のあかしあふれる」(教会福音讃美歌307番)とありますが、その歌詞と賛美の力が証されるひとときでした。

Catherine Porter 『Play of Light ーベツレヘムの馬小屋へー』

大嶋英知

キャサリン・ポーターさんは、イギリス出身で8歳からハープを始めて、ケンブリッジ大学とギルドホール音楽大学院で音楽を学ばれています。ロンドンでハープ奏者として活動。2011年3月にWECの宣教師として日本に来日され、東北地方太平洋沖地震の被災地（岩手県宮古市）で働きつつ演奏活動を行う。2021年からは仙台市に拠点を移し音楽活動を続けておられます。現在までに、3枚のCD『目を上げて』、『光の中へ』、『喜びに招かれて』をリリースし、今回は4枚目となるクリスマス曲を収録した『Play of Light』を今年の9月に発売。

Play of Lightとは、3つの意味合いがあり、ひとつは太陽の光がキラキラと池の水に踊っているように見える様子。2つ目は、「光を弾く」、「光をハープで奏でる」、「光について演奏する」という意味合いを込めて、ハープで真理の光、神様のことを伝えていく、証ししていくということ。3つ目は、光の演劇で、曲と歌詞を通してクリスマスのストーリーに興味を持っていただければという想いを込めているそうです。

歌詞カードには、冒頭に分かりやすく、キャサリンさんのクリスマスへの想いと、イエス様が誕生するまでのお話。そしてキャサリンさんの証が簡潔に書かれています。1曲目の「もろびとこぞりて」は、耳馴染みのあるメロディーが始まるかと聴き始めると、まるで壮大な物語がこれから始まるように、ワクワクとする旋律で、歌詞カードを読み進めるのにもぴったりです。歌詞と共に描かれている挿絵もとても優しくて、音楽に寄り添って主の栄光を表しているように感じます。

音楽的・技術的にも素晴らしく、キャサリンさんのお人柄と証し、信仰がそのまま音楽に溢れている作品です。聖書のことを知らない方にも本当のクリスマスを知る良いきっかけになるのではと思います。今年はクリスマスツリーの飾り付けをしながら、『Play of Light』を聴きたいと思います。

収録曲：

- 1) もろびとこぞりて
- 2) サセックス・キャロル
- 3) マリヤに抱かれ（グリーンスリーブス）
- 4) 生けるものすべて
- 5) さやかに星はきらめき
- 6) きよしこの夜
- 7) Tomorrow shall be my Dancing Day
- 8) 神の御子は今宵しも
- 9) マリアよ、知っていたのか
- 10) 荒涼の真冬に
- 11) リトル・ドラマー・ボーイ
- 12) アメイジング・グレイス
- 13) 私を贖う方は生きておられる
- 14) いと高きところに栄光が



秋岡陽 『秋岡教授の音楽学を愉しむ 24の扉』

中山信児

著者が、あとがきに「いちばん言いたかったのは『音楽史は変わる』ということらしい」と他人事のように書いておられるように、音楽の楽しみ方も、音楽史の見方も、時代とともに、また国によって変わる。本書の初めと終わりには、定評ある西洋音楽史のテキストの最新版で『『バロック時代』という時代名称が目次から消えかかっていた』というショッキングなエピソードが紹介されている。時代とともにダイナミックに変化する枠組みや視点を味わうことも、また音楽学を「愉しむ」ことなのかもしれない。

24の章（扉）には、いろんな時代に当たり前だったことが、それぞれの時代の空気とともに紹介されている。バッハ、ヘンデル、モーツァルト、パガニーニ、ワーグナー、シェーンベルグらと、彼らの時代、彼らを取り巻くさまざまなエピソードが、学問的に正確な知見とともに、一般読者の関心によりそうように、わかりやすく書き下ろされている。とはいえ、書名に「音楽学」とあることから推察されるように、読者にも音楽を「学問」として愉しむ姿勢は求められる。本書は、そのような読者に、学問としての音楽の愉しさを、さまざま気付きとともに教えてくれる楽しく有益なガイドである。

『ミクロログス (音楽小論)』 [全訳と解説]

新潟福音教会 牧師 下川羊和

「西洋音楽史上最も重要な古典文献」ガイド・ダレッツォの邦訳が2018年春秋社から出版され話題となった。ガイドは「ドレミの始祖」と呼ばれる。本書は理論書『ミクロログス』の全訳と、3つの小著の部分訳、解説、解題も併録。読者の関心事に焦点を当てた、大変読みやすい記述である。

ガイドは中世イタリアの音楽教師。アレツォへ移る前の修道院で聖歌隊の聖歌暗唱がとても困難であったことから、聖歌を短期間で覚える方法を考案し評判となる。しかし他の修道士から反感を買いアレツォへ。その時代と地域において「歌を上手に教える」ということは人々の関心と呼ぶ話題だった。

抜粋が掲載された『未知の聖歌に関するミカエルへの書簡』はとりわけ面白く読ませてもらった。『聖ヨハネ賛歌』は各フレーズの開始音がC-D-E-F-G-Aとなっており、ド(ウトウ)レミファソラという階名が作られ、今日に至るまで広く使用されている。

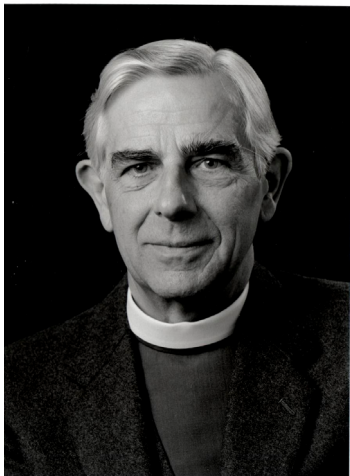
教会で新しい優れたさんびかを覚えることは大切である。神学校の教会音楽では賛美歌視唱という授業がある。未知の歌の楽譜を見て歌うこと。他の音楽教育では初見とか読譜に当たるわけだが、教会の賛美歌は特有の課題があり、奏楽者のみならず牧師に「あると望ましい」能力である。地域教会において賛美リーダーが優れた賛美曲を理解し、紹介できることは教会の生き生きとした活動を大いに励ますこととなるだろう。

この書物は中世のこととは言え、当時の人々が今日と同様の課題を抱え努力奮闘し、そのスタートにおいて後々まで多大な影響を与える一定の成功を見た証しと言える。今も現場では様々な苦労話を聞く。世には楽譜が読める人、読めない人の二種類の人が存在する。筆者の教わった音楽教師たちはいずれも、初歩における読譜を充分教えてくれた。この書物からは教会音楽教師の情熱が伝わってくる。



■追悼 ティモシー・ダドリー＝スミス (Timothy Dudley-Smith)

中山信児



英国の福音的な教会指導者であり、優れた讃美歌作詞家でもあったティモシー・ダドリー＝スミス(1926-2024)が、8月12日、ケンブリッジにおいて97歳で死去されました。

ダドリー＝スミスは「Tell Out, My Soul」など約400の讃美歌詞を書き残しました。その作品は、英語圏を中心に世界中で歌われており、日本でも『讃美歌21』(1997)、『新生讃美歌』(2003)、『希望の讃美歌』(2006)、『聖公会聖歌集』(2006)、『教会福音讃美歌』(2012)など、多くの讃美歌集に収録されています。彼の書く歌詞は、聖書のことばと福音的な神学に立脚した堅実な作風と豊富な語彙を特徴としています。

『教会福音讃美歌』に収められているダドリー＝スミスの作品は以下の5曲です。その中で、64番は「マリアの賛歌」、222番は「シメオンの賛歌」を題材としていますので、このアドベント、クリスマスに歌っていただければ幸いです。

64番「喜べ、主をたたえよ」"Tell out, my soul"

116番「緋の衣」"A purple robe, a crown of thorn"

222番「主の約束 待ち続け (シメオンの賛歌)」"Faithful vigil ended"

229番「キリスト 教会の主よ」"Lord of the church, we pray for our renewing"

486番「月日を治める主イエスは」"Lord, for the years"

会計中間報告

2024年4月～2024年9月

■収入の部■ (単位：円)

科 目	2024 年度予算	中間報告
会員負担金	1,110,000	633,000
(正会員)	(750,000)	(500,000)
(準会員)	(60,000)	(60,000)
(賛助会員)	(300,000)	(73,000)
自由献金	300,000	153,500
積立金取り崩し	30,000	0
特別収入	190,000	170,601
その他	0	53,001
当年度収入合計 (A)	1,630,000	1,010,102
前年度繰越金	2,386,461	2,386,461
収入合計 (B)	4,016,461	3,396,563

■支出の部■

科 目	2024 年度予算	中間報告
理事会費	106,000	0
委員会費	95,000	23,810
人件費	384,000	192,000
事務費	191,000	144,545
ジャーナル発行費	300,000	143,412
カンファレンス開催費	255,000	86,789
総会開催費	0	0
JEA 関係費	100,000	42,000
経常支出合計	1,431,000	632,556
特別支出 積立金	0	0
予備費	300,000	0
当年度支出合計 (C)	1,731,000	632,556
当年度収支差額 (A) - (C)	-101,000	377,546
繰越額/残高 (B) - (C)	2,285,461	2,764,007

●賛助会費納入者・献金者一覧 (2024年4月～2024年9月) (敬称略)

個人: 福田崇、山村雅彦、横倉知恵、中川啓子、安西仁美、藤本侃也、土井倫子、本間昭弘、匿名2名 (10件)
 教会: グレースコミュニティ、富士見台キリスト教会、馬天キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、松見ヶ丘キリスト教会、日本福音キリスト教会連合 (6件)

お名前掲載を希望されない場合は、通信欄に匿名希望とお書きくださるか、メール (info@jeacs.org) で、その旨をお知らせください。

新理事長就任挨拶

JECA 結城福音キリスト教会牧師
飯田勝利

「私はいつもあなたを賛美しています。」詩篇 71 篇 6 節

愛するご主人を天に送った後、お一人ですごされていた姉妹が当教会におられました。ある時、姉妹宅で開かれた家庭集会で讃美歌を歌った時、「主人を天に送った後、掃除機をかけながら『いつくしみ深き』を毎日歌って、その歌詞に慰められているの。」と証しされました。そして、「讃美歌の歌詞って、御言葉ね。」と、本当にしみじみと言われたのです。

この言葉に私はドキッとしました。厳密に言えば、「御言葉」と言えるのは、神の言葉である聖書だけだからです。しかし、聖書から語られる説教を神様からのことばとして受け取り、慰めや励まし、時に戒めを受けるとすれば、讃美歌の歌詞も神様からのことばとして受け取り、慰めや励まし、時に戒めを受けることはあるのではないか、と思われました。ご主人を天に送った後、姉妹を日々に上からの慰めと励ましで満たしたのは、神様を讃美することでした。姉妹は今年の10月に天に召されました。今は天で愛するご主人と神様を讃美していることでしょう。

「いつくしみ深き 友なるイエスは、われらの弱きを 知りて憐れむ。

悩みかなしみに 沈めるときも、祈りにこたえて 慰めたまわん。」(「いつくしみ深き」2 節)

この度、私は理事長として主と教会に仕える機会をいただきました。小さな者ですが、神様への讃美の裾野を広げるために少しでも用いられるなら幸いです。どうぞ、お祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

祈りとご支援のお願い

「私たちの父である神に、栄光が世々限りなくありますように。アーメン。」

ピリピ 4 章 20 節

ようやく『あたらしい歌 3』(税込 990 円)が発刊されました。22 曲中 21 曲が日本生まれの新作讃美歌で、セミナー参加者の応募作品からの曲もあります。ギターコード付きです。諸教会のクリスマス伝道に用いられますように。当協会はとりわけ賛助会員の登録によって、共に会衆賛美にお仕える仲間を募っております。どうぞご検討ください。心からお待ちしています。



◆郵便振替口座◆

番号 00220-1-95127
名称 福音讃美歌協会

◆ゆうちょ銀行口座◆

〇一八店 普通 7252410
一般社団法人 福音讃美歌協会

■福音讃美歌協会 ◆賛助会員募集

- ・「賛助会員」は、福音讃美歌協会の趣旨に賛同し、支援してくださる教会や個人の会員です。
- ・賛助会員のお申し込みは、福音讃美歌協会までメールか F A X で入会申込書をご請求ください。
- ・賛助会員の年会費は、一口 5,000 円で、個人は一口から、教会は二口からお願いします。
- ・正会員、準会員の詳細については、福音讃美歌協会まで直接お問い合わせください。



福音讃美歌協会 (JEACS)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 602号室
Tel.03-5341-6920 Fax.03-5341-6921 (いのちのことば社出版事業部内)
ホームページ <http://jeacs.org/> メール info@jeacs.org
Facebook YouTube JEACS で検索してください。